

会 議 録

審議会等の名称	令和元年度第2回富士市入札監視委員会
庶務を担当する部課等	財政部契約検査課 内線番号（2787）
会議の開催の日時	令和2年1月28日（火） 午後13時30分～午後15時15分
会議の開催の場所	富士市庁舎6階 第二会議室
出席者（職・氏名）	◎【入札監視委員会委員】 田中 聡、古郡 芳和、長橋 順、山本 睦、渡邊 里香 ◎工事担当課担当者、事務局
議題	① 発注工事入札契約手続の運用状況報告について ② 案件抽出審議について
配付資料	令和元年度第2回富士市入札監視委員会 次第 令和元年度第2回富士市入札監視委員会 席次表 令和元年度第2回富士市入札監視委員会 審議書
審議の状況	◎審議の対象となる工事を抽出する指定委員は、事前に渡邊委員に依頼済み ◎平成31年4月1日から令和元年9月30日までの工事案件一覧と入札参加資格停止等の運用状況、発注工事入札契約制度の運用状況の報告 ◎抽出案件1～6について審議
審議の結果	<発注工事入札契約手続きの運用状況> ◎対象期間内の発注工事は172件 ◎入札参加資格停止等は6件 いずれも特に意見なし <抽出案件審議> ◎抽出案件1～6について審議 抽出案件1～6 特に意見なし

抽出事案一覧表

No.	工 事 名	入札契約方式
1	(合併入札) 令和元年度 第二東名 I C 周辺地区土地区画整理事業 末広線 (南工区) 街路築造ほか工事・第二東名 I C 周辺地区土地区画整理内 末広線 (南工区) ほか配水管及び送水管移設工事	制限付き一般競争入札
2	マリンプール駐車場舗装工事	制限付き一般競争入札
3	令和元年度 公営住宅厚原団地屋上・外壁防水改善工事	制限付き一般競争入札
4	入山瀬 3 9 5 号線マンホールポンプ設置工事	制限付き一般競争入札
5	平成 3 0 年度 東部処理区 5 6 4 号線管路布設替工事	指名競争入札
6	富士市クリーンセンターききょう計装設備改修工事	随意契約

抽出事案 1 (合併入札) 令和元年度 第二東名 I C 周辺地区土地区画整理事業 末広線 (南工区) 街路築造ほか工事・第二東名 I C 周辺地区土地区画整理内 末広線 (南工区) ほか配水管及び送水管移設工事

	質問	回答
質問①	落札者の入札額が他者の入札額と比べて低かった理由は何か。また、落札者以外の入札参加者が予定価格超過になった理由は何か。	この案件については入札参加者に対して入札に関する調査を実施している。落札者は入札金額の決定にあたり、実際に工事にかかる費用を参考にしていた。予定価格超過になった者は静岡県積算基準を参考とする傾向にあった。
質問②	落札率が 9 9 . 2 8 % と高い理由は何か。	この案件は土木と水道管工事の合併入札である。応札者は土木工事を主業としているが、工事全体に占める水道管工事の比率が高く、その部分は下請けに出すため、下請けの利益のことまで考えると、入札額を削ることが出来なかったのではないかと。

質問③	技術資料提出型制限付き一般競争入札の基準や提出書類は何か。	予定価格が3,500万円以上の工事が技術資料提出型になる。提出書類は通常の配置予定技術者等の資格等がわかる書類や直近の経営規模等評価結果通知書総合評定値通知書の写しに加え、過去の施工の実績がわかる契約書等になる。
抽出事案2 マリンプール駐車場舗装工事		
	質問	回答
質問①	落札者が特に入札額が低く、制限付き一般競争入札中最も落札率が低かった理由は何か。	舗装が得意分野の業者である。自社で機械を持っており、舗装に関する技術者もいる。舗装を中心に扱っていることから、メーカーと有利な価格で材料の取引もできるのではないかと。
質問②	2者が予定価格を超過している理由は何か。	この案件についても入札参加者に対して入札に関する調査を実施している。予定価格を超過した応札者は入札金額の決定に当たり、静岡県積算基準を参考としている。静岡県積算基準と実際に工事にかかる費用のどちらを参考にするかは受注意欲にもよるのではないかと。
質問③	この工事を受注してしまうと、他の工事が受注できないような工事か。	そのようなことはない。
質問④	現在の受注はどのような状況か。	不調が多く出ている。技術者の配置ができない、施工体制が組めない（現場作業員や交通誘導員の不足）などの人手不足が理由。これは富士・沼津土木事務所管内での状況であり、新環境クリーンセンター建設工事の影響だと思われる。
質問⑤	低入札案件で工事がうまくいかなかったことがあるか。	それはない。

抽出事案3 令和元年度 公営住宅厚原団地屋上・外壁防水改善工事

	質問	回答
質問①	公共の防水工事はどのくらい実施されるのか。	防水工事と塗装工事は重複する部分が多い。それらを合わせて多い年で年間10件から12件程度である。今年度について上半期は4件、下半期を合わせても10件満たない程度である。
質問②	1回目の落札者が辞退をした理由は何か。	同日入札の別案件も落札しており、技術者の配置が一人しかできないため、この案件を辞退した。
質問③	2回目の入札を後日実施することはしないのか。	していない。
質問④	入札参加者が2者しかいないことは業者間でわかるのか。	落札決定をして入札結果が公表されるまではわからない。
質問⑤	業者間で情報が行き来することはしないのか。	市に対して談合情報などが寄せられれば、調査等を行い対応する。
質問⑥	落札者が1回目比べて1割近くも2回目の入札額を削れたのはなぜか。	(委員会での回答は一旦保留。後日対象業者に対し調査の上回答) 1回目の入札金額は工事積算システムを使用せず、実績や実情に即した金額である。2回目の入札金額は、1回目の入札金額から一定割合を削減した金額である。

抽出事案4 入山瀬395号線マンホールポンプ設置工事

	質問	回答
質問①	落札率が高い。予定価格の設定はどのようにしたのか。	予定価格についてはマンホールポンプのメーカーから機器の見積もりをもらい配線などの諸々の設計、積算をしている。落札率が高い点については、メーカーが施工業者にも市にも同じような金額を提示しているのではないかと。
質問②	特殊な工事とのことだが年間どのくらいあるものなのか。	バラつきがあり年間1件しかない時もある。今年度については、上半期2件、下半期1件の合計3件である。

質問③	<p>一般競争入札でなく指名競争入札にしなかったのはなぜか。</p>	<p>入札参加者が少ないが、基本的に500万円以上の入札は制限付き一般競争入札としている。地方自治法の主旨や競争性の観点からもそれが適正だと考えている。ただし、一般競争入札でも入札参加者がいない場合など工事の適正執行のため指名競争入札に切り替えることはある。</p>
質問④	<p>施工実績を確認できた業者が準市内までで1者しかなく、特殊性の著しい工事であれば遠方の業者が入札参加をするとは考えにくいこのようなケースの場合、一般競争入札でなく指名競争入札の方がよかったのではないか。</p>	<p>県内で入札参加資格を確認できた者が8者いる。地理的には磐田から三島までの範囲であり、それほど遠方であると認識をしていない。一般競争入札というのが富士市の考え方である。</p>
質問⑤	<p>マンホールポンプ代はいくらぐらいか。</p>	<p>マンホールポンプ工事では2基必ず設置する。2基合わせて300万円ほどである。</p>
質問⑥	<p>ポンプ工事は入札参加者が少なく落札率が高い入札が続いている。入札参加者が増えるよう何か策を講じた方がよいのではないか。</p>	<p>入札参加資格要件として過去10年の実績を求めている。条件を少し見直すなど、より参加者が多くなる形を検討したい。</p>

抽出事案5 平成30年度 東部処理区564号線管路布設替工事

	質問	回答
質問①	<p>1度目の入札と2度目の入札ではどのように設計を組み替えたのか。</p>	<p>1度目は歩道上の植栽を二か所設計していたが、2度目はそれを一か所に減らした。</p>
質問②	<p>2度目の入札で指名した16者のうち11者が辞退した理由は何か。</p>	<p>理由は、手持ち工事が多い、他の工事を受注していて工期内の完成が困難、他の工事への入札参加希望がある、作業員や技術者等の不足、積算が間に合わなかったなどである。</p>

	質問③	大幅に予定価格超過している入札参加者のその理由は何か。積算がかなり難しいのか。	実際に工事にかかる費用を参考にして入札金額を決定している。工事にかかる手間などを考慮した結果そうなったのではないか。管更生が一般的な手法である中、条件的にそれができず、管の入っている交通量の多い道路から歩道の方にバイパスのように経路を変えて行う非常に手間のかかる工事となったことが敬遠されたのではないか。
	質問④	発注時期は辞退理由等を考慮して行われているのか。	担当課としては、時機を見ながら発注している。
	抽出事案 6 富士市クリーンセンターききょう計装設備改修工事		
		質問	回答
	質問①	見積合わせとのことだが、契約金額と予定価格が近いこと、金額のすり合わせがあったかどうか確認したい。	予算措置のため見積徴取は行っている。それを基に市として積算し、予定価格としている。
備考	・再苦情等が寄せられた場合には、臨時で審議会を開催する。		